



2019年11月1日

各位

会社名 株式会社レノバ  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 木南 陽介  
 (コード番号：9519 東証第1部)  
 問合せ先 執行役員 CFO 森 暁彦  
 (TEL.03-3516-6263)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年11月1日開催の取締役会において、2019年5月10日付「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 今期(2020年3月期)の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	EBITDA <sup>※</sup>	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	17,500	9,400	5,700	3,300	2,100	27円83銭
今回修正予想(B)	19,200	10,800	6,700	4,100	3,300	43円77銭
増減額(B-A)	1,700	1,400	1,000	800	1,200	
増減率(%)	9.7	14.9	17.5	24.2	57.1	
(参考)前期連結 実績 (2019年3月期)	14,098	7,893	5,025	3,460	1,659	22円25銭

※ EBITDA (経常利益+純支払利息+減価償却費+長期前払費用償却(電力負担金償却及び繰延消費税償却)+のれん償却額+繰延資産償却額(開業費償却及び創立費償却))

## 2. 修正の理由

当社は、開発中である石巻ひばり野バイオマス発電事業（宮城県石巻市、発電容量 74.95MW）の最終投資意思決定を 2021 年 3 月期に見込んでいましたが、事業開発の進捗を踏まえ、今期（2020 年 3 月期）中に最終投資意思決定を行う方針といたしました。これに伴い、当社は石巻ひばり野バイオマス発電事業を行う合同会社石巻ひばり野バイオマスエナジーからの事業開発報酬を今期において売上計上する見込みです。なお、事業開発報酬のうち、当社に帰属する事業からの配当比率に相当する額が連結上消去され、連結売上高に計上されます。

また、今期中の最終投資決定を見込んでいる御前崎港バイオマス発電事業（静岡県御前崎市等、発電容量 74.95MW）に関して、2019 年 5 月 10 日付で発表した 2020 年 3 月期の連結業績予想（以下「前回予想」といいます）において今期の売上計上を見込んでいた事業開発報酬の一部につきましては、2021 年 3 月期に売上計上する見込みとなりました。

さらに、当社は、2019 年 7 月 1 日付にて軽米西ソーラー発電所（岩手県九戸郡軽米町、発電容量 48.0MW）を保有する、当社の持分法適用関連会社であった軽米西ソーラー匿名組合事業の出資持分の一部を追加取得して前回予想発表時の想定よりも早期に連結子会社化いたしました。

また、2019 年 12 月 2 日付にて軽米東ソーラー発電所（岩手県九戸郡軽米町、発電容量 80.8MW）を保有する、当社の持分法適用関連会社である軽米東ソーラー匿名組合事業の出資持分を追加取得して、連結子会社化の早期化を実施することを本日決定しています。なお、軽米東ソーラー匿名組合事業の連結子会社化に伴い、当社は前回予想の発表時において想定していない多額の段階取得に係る差益を特別利益として計上することになります。

これらの主な修正要因や再生可能エネルギー発電事業における売電が好調であること等を踏まえた結果、前回予想に対して、連結売上高及び段階利益が大幅に上回る見込みです。

連結売上高は、前回予想より 1,700 百万円増の 19,200 百万円（前回予想比 9.7%増）を見込んでいます。段階利益は、EBITDA が前回予想より 1,400 百万円増の 10,800 百万円（前回予想比 14.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想より 1,200 百万円増の 3,300 百万円（同 57.1%増）をそれぞれ見込んでいます。

### （注意事項）

上記に記載した予想数値は、現時点における入手可能な情報に基づいて作成しており、今後変動する可能性があります。また、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

### 【リリースに関するお問い合わせ先】

IR 室 野瀬

TEL : 03-3516-6263

E メール : ir@renovainc.com